

## 木造福祉施設・医療施設 事例※

1. あぶくま更生園 (福島県)
2. 若草園 (宮城県)
3. 国見の里 (福島県)
4. ごんの里 (愛知県)
5. よりあいの森 (福岡県)
6. なごみの里ななせ (山口県)
7. 幸の郷 (愛知県)
8. あくらすJ (福岡県)
9. かざみ鳥 (香川県)
10. ハートホーム宮野 (山口県)
11. 花畑あすか苑 (東京都)
12. お産の森いのちのもり 産婦人科 篠崎医院 (茨木県)

※平成30年度林野庁補助事業 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会「医療・福祉施設木材利用促進検討委員会、医療施設木材利用促進検討WG、福祉施設木材利用促進検討WG 報告書」より抜粋

# あぶくま更生園 ~スプリンクラー設備による木質化~

法人名：社会福祉法人福島県福祉事業協会 所在地：福島県田村市 利用開始年月：2015年5月



施設全体



正面入口から作業・訓練室を見る



廊下から玄関を見る

## 事業概要

指定障害者支援施設

- 施設入所支援：46人
- 生活介護：40人
- 短期入所（併設型）：4人



## 建築概要

階数 平屋

地域制限 その他の地域

建築物の防・耐火上の要件 準耐火建築物

敷地面積 9,216.93㎡

建築面積 3,077.25㎡

延床面積 2,892.86㎡

構造種別 木造（軸組工法）

設計 宇野享 / < ^ n

計画アドバイザー 東京大学 松田雄二 准教授

施工 鹿島建設株式会社

工事工期 2014年3月～2015年5月

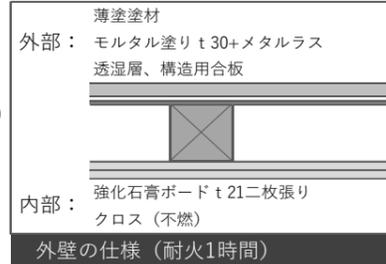
## 木造施設としての工夫

### 1. 外壁耐火構造の準耐火建築物

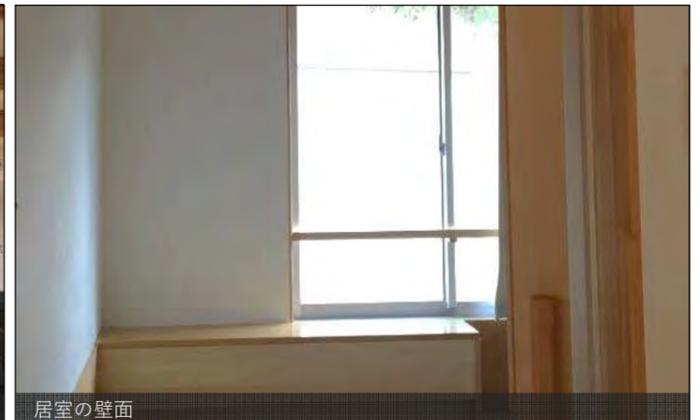


作業訓練室から居室を見る

耐火1時間仕様の外壁耐火構造（法2条9号の3ロ-1）を採用して、準耐火建築物としている。



### 2. 壁面の耐火性能と強度の確保



居室の壁面

壁の内部は、強化石膏ボードを重ねて張ることで、耐火性能を確保している。加えて、壁面の強度が高くなり、メンテナンスの負担の軽減につながっている。

居室の壁は、クロスと腰壁を張って仕上げている。

### 3. スプリンクラー設備と排煙設備を用いた内装制限緩和



パブリックリビング（女）内観

スプリンクラー設備等の消火設備が設けられている場合は排煙区画部を除き、内装制限の適用が除外され、天井、壁等全ての内装に木材を使うことが可能となる。一般部分に使用された木材は、一般に流通しているサイズの集成材を採用し、耐力壁等の配置を工夫することにより経済的な架構となっている。

### 4. スプリンクラー設備を用いた面積区画緩和



居室前の廊下天井

準耐火建築物の場合、通常は1,500㎡以内ごとに区画する必要があるが、本施設では全館にスプリンクラー設備等の消火設備を設けることにより、面積区画における延床面積が2倍となり、面積区画が不要となっている。

## 施設概要

東日本大震災による東京電力福島第一原子力事故に伴う避難により新設された。本施設のある地域は、冬には数年に一度、50cmほどの積雪がある。震災以前に利用していた施設は、鉄筋コンクリート造であったが、震災後、疲れ切っていた心身を癒す空間づくりを目指し、地場産業への貢献と、温かみやリラクゼーション効果の期待できる木造平屋が選択された。

木造・木質化の特徴

床（居室）



失禁など、様々な入居者の状況に対応できるよう、全居室のうち3割は、床に長尺シートを張り（写真右）、残りの居室及びパブリックリビングはフローリングを張っている（写真左）。

水廻り



各居室ユニットに備わるコンパクトな水廻りは、清掃の面から床は長尺シートを張り、壁と建具は木質化している。

壁（施設全体）



空間の雰囲気を外部へ醸し出すように出隅とハイサイドに直行する面を積極的に木質化し、コーナーガードの役割も果たす。

壁（居室）



一部の居室の壁やベンチは、入居者により傷付いた跡があるが、木目の模様により目立ちにくい。

廊下



廊下は、床、手すり、窓枠、天井を木質化している。壁は部分的に木質化し、地域産材の杉を用いている。

木造化によるメリット

施設の広さが改善されたことに加えて、馴染みのある内装、木材の温かさ・柔らかさにより、以前の施設（RC造）より利用者が穏やかになった、といった声が聞かれた。一方、内装に木を用いる際は、木製建具の鍵や使用頻度の高い出入口のドアなどは強い衝撃に弱いことや、木材の乾燥により柱にひび割れが生じることがあるため、入居者が怪我をしないよう配慮が必要となる。また、1~2年目は木材が膨張・収縮するため、本施設のように板張りの壁の場合は、板の結合部に適度に隙間を入れるなど工夫することで、建具への影響を軽減することが出来る。

施設写真・図面集



入所者の破壊行為予防のため、内部に空調設備を備えた木製ベンチ



食堂の床は、清掃面からフローリングではなく長尺シートを採用



大断面集成材を用いた門型フレームによる大空間（作業訓練室）



山型の梁を用いたサスペンション構造による大空間（食堂）



# 若草園 ～分棟化と燃えしろ設計の活用～

法人名：社会福祉法人恵泉会 所在地：宮城県登米市 開設年月：2011年4月



駐車場から施設全体を見る（左：【A】居住エリア 右：【B】活動エリア）

外部生活通路から連絡通路を見る

【B】外部生活通路から廊下を見る



【A】居住エリアの玄関屋根は自宅を思わせる三角形の家型

居住エリア連絡通路から活動エリアにかけてやや下り坂になっている

## 事業概要

- 障がい者支援施設
- ・施設入所支援：60室（10人×6ユニット）
- 【A】
- ・生活介護事業 【B】
- 短期入所事業：4室 【A】
- 日中一時支援事業

- 【A】居住エリア
- 【B】活動エリア

## 建築概要

階数	平屋
地域制限	その他の地域
建築物の防・耐火上の要件	準耐火建築物
敷地面積	10,673.54㎡
建築面積	3,548.51㎡
延床面積	3,406.24㎡
構造種別	木造（軸組工法）、一部鉄骨造
設計	株式会社関・空間設計
施工	阿部建設株式会社
工事工期	2010年7月～2011年4月

## 木造施設としての工夫

### 1. 【A】分棟化によるその他の建築物



【A】各居室は庭に面して並んでいる

居住エリアは、ユニット毎に1,000㎡以下で分棟化することによって、防火壁の不要な「その他の建築物」としている。

居住エリアの玄関及びリビング・食堂の外壁は、1時間耐火（告示1358号）としている。

### 2. 【B】燃えしろ設計による準耐火建築物



【B】廊下はガラス張りとなっており、居室エリアを見渡せる

活動エリアは、燃えしろ設計による準耐火建築物としている。廊下は、燃えしろ設計の柱、筋かいが並び、木造らしい空間となっている。

その他の仕上げは、コストを重視し、塗装、クロス、構造用合板等を採用することにより、木構造体の美しさが際立っている。

### 3. 国産材と輸入材の活用



【B】天井の高い西側廊下は、サッシの内側に木製化粧を施している

国内の森林保全のため国産材を採用した。構造体は、国産材として一般的で、経済的な杉材とした。

内装材の柱、梁以外は、コストを重視し、ロシアンラーチ材とした。

設計において、木材は流通材を基本としたため、木材の反り、割れ等について施主の理解を要した。

### 4. 外装の木質化



【A】外装の木質化

屋外側の仕上げは、防腐処理をした杉板張りとし、木材保護塗装を2回施している。経年変化による色あせを防ぐため、定期的な塗装を行っている。屋外は、特に天候の影響を受けやすく、軒の出を長くする、メンテナンスの容易な箇所には木材を使用する等の工夫を行っている。

## 施設概要

知的障がい者に対する「施設入所支援（主に夜間の日常生活の支援）」と施設障害者福祉サービスの「生活介護事業（主に昼間の日常生活の支援、創作活動又は生産活動の援助）」、更に「短期入所事業」の複合施設である。既存施設の老朽化と平成18年に施行された障がい者自立支援法に基づいた新体制への移行に対応するため、中学校グラウンド跡地への新築移転が計画された。

## 木造・木質化の特徴

【A】床（水廻り以外）



居住エリアの床は、合板の上に、床暖房用コルクタイルを貼っている。

【A】床（水廻り）



居住エリアのユニットに備わるトイレ・洗面・洗濯スペースの床材は、抗菌性長尺シートを採用している。

【A】腰壁（廊下）



居住エリアは、腰壁として構造用合板を貼っている。黒くなっている部分は、入居者が壁をつたって移動した跡である。

【B】床（食堂・地域交流スペース）



食堂・地域交流スペースの床は、フローリングとしている。二重床とし、床下にヒーターを設置することで床全体を暖める。

【B】床（玄関・廊下）



活動エリアの玄関及び廊下の床材は、安全性に配慮したゴムチップのタイルを採用している。外靴のまま入館できる。

【B】床（大浴場）

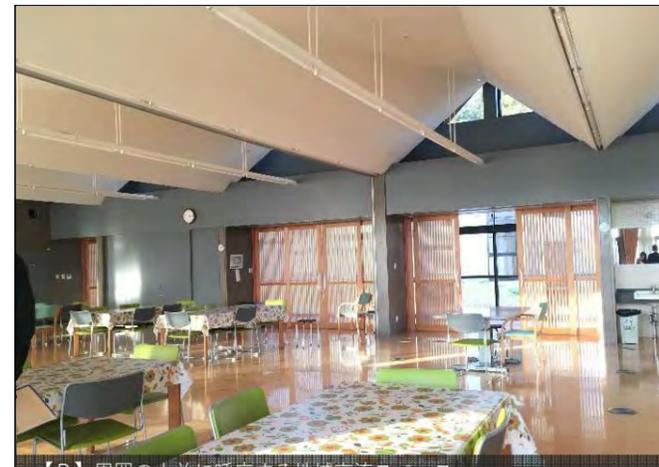


活動エリアの大浴場の床材は、安全性を考慮しコルクタイルを採用している。

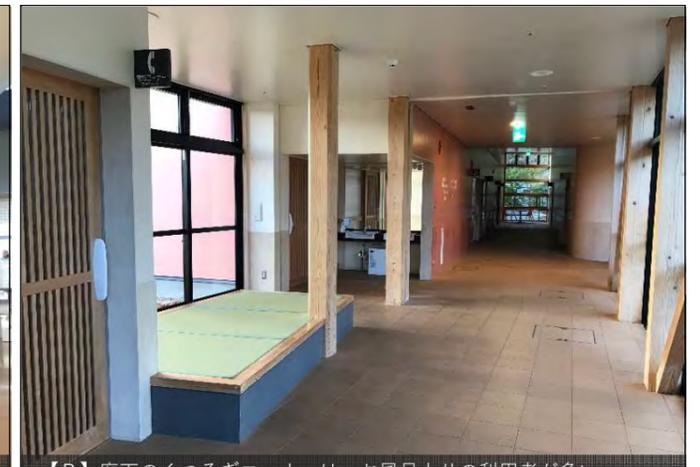
## 木造化によるメリット

一般流通材を利用する等、建物のつくり方を工夫することにより、地域の施工会社等でも中大規模木造を施工することが可能となり、アフターケアも地域で対応しやすい。一方、中大規模木造建築物に不慣れなゼネコンが未だ多く、断熱材の納まり、気密性の確保、通気層の確保等における施工は、特に配慮が必要である。若草園では経済性、施工性に配慮して、一般的な在来工法を採用している。外壁耐震壁は、断熱材の納まりに配慮し、構造用合板とし、内壁耐震壁は、設備などの納まりに配慮し、筋かいで対応している。

## 施設写真・図面集



【B】周囲の山並に呼応する地域交流スペース



【B】廊下のくつろぎコーナーは、お風呂上りの利用者が多い



【A・B】外部生活通路から居室エリア(左)・活動エリア(右)を見る



【B】作業室の内壁は構造用合板で仕上げている



# 国見の里 ～渡り廊下による防火区画と燃えしろ設計～

法人名：社会福祉法人厚慈会 所在地：福島県伊達郡国見町 開設年月：2013年9月



南側からエントランスを見る



北側から施設全体を見る

## 事業概要

- 特別養護老人ホーム：90人
- ショートステイ：10人
- デイサービス：25人

## 建築概要

階数	平屋
地域制限	その他の地域
建築物の防・耐火上の要件	準耐火建築物
敷地面積	20,416.27㎡
建築面積	5,679.30㎡
延床面積	5,519.80㎡
構造種別	木造（軸組工法）
設計	株式会社レーモンド設計事務所
施工	株式会社安藤組
工事工期	2013年2月～2013年7月



館内のご案内

## 木造施設としての工夫

### 1. RC造の渡り廊下による分棟化



防火戸を設けたRC造の渡り廊下

5000㎡を超える大規模木造の平屋建築物であるため、面積制限がかかる。本施設は、メインは木造としつつも、RC造の渡り廊下によって分棟化している。各部の床面積の合計を3,000㎡以内とすることで、主要構造部を耐火構造とせずに建設が可能となっている（法21条2項2号）。

### 2. 単純なプランニングによるコスト削減と工期短縮



ユニット化された居室

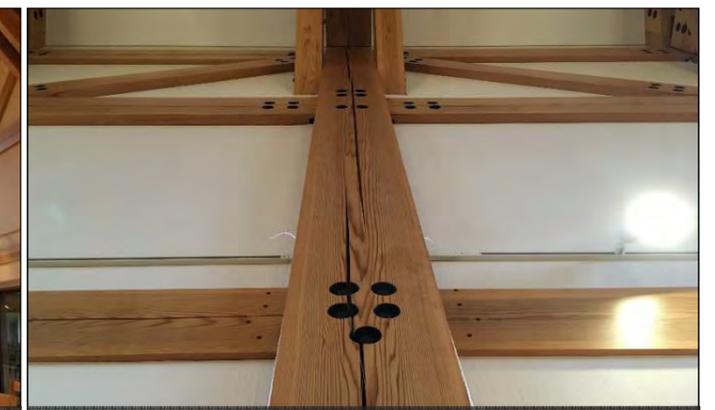
居住棟は、住宅に使用される一般的な木材を被覆した準耐火構造となっている。標準化されたユニットを連結した単純なプランとすることにより、建設コストの削減と工期短縮を図っている。

トイレの壁は、ユニットによって黄緑、茶、淡い赤など色分けされ、利用者の目印となっている。

### 3. 燃えしろ設計による躯体のあらかし



交流スペース（機能回復訓練室）



交流スペースの大断面製材は一部乾燥によるひび割れが生じている

交流スペースを中心とした大規模空間は、燃えしろ設計とし、大断面製材の躯体をあらかしとしている。交流ホールは、定期演奏会や、町から災害時の福祉避難所として指定されるなど、地域に開かれた施設となっており、音響についても好評を得ている。

大断面製材は、乾燥時間がかかるため、その部分の建て方工事を工程の最後にするなど工夫をしている。また、見学者から乾燥によるひび割れを見て心配されることがあるが、この程度の割れは構造的に問題がないと回答している。経営者と施工者が正しい情報を共有し、木造に対する理解を拡げることが重要である。

## 施設概要

町内で初めての特別養護老人ホームとして計画された本施設は、周囲を山に囲まれた丘陵地に建っている。居住棟は、1ユニット10名の生活単位10組、計100床と共同生活室で構成されている。

「地産地消」を施設全体のコンセプトとして、使用した木材の全材積1,073㎡のおよそ70%程度に県産材を採用している。また地域交流スペースの活用など、地域に根差した施設となっている。



# 住宅型有料老人ホームごんの里 ~土壁湿式工法~

法人名：株式会社Lily's 所在地：愛知県半田市 利用開始年月：2015年9月



住宅型有料老人ホーム玄関



駐車場からデイサービスを見る



居室から小屋組みを見る

## 事業概要

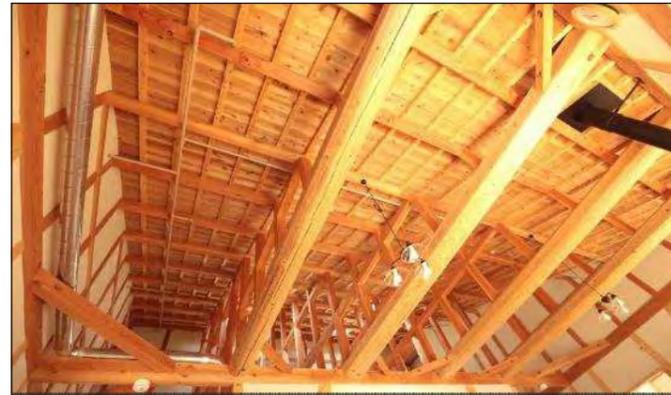
- 住宅型有料老人ホーム：18人  
入居条件：自立・要支援1～要介護5の方
- デイサービス：9人

## 建築概要

階数	平屋、一部地上2階建て
地域制限	その他の地域
建築物の防・耐火上の要件	その他の建築物
敷地面積	1,014.00㎡
建築面積	579.30㎡
延床面積	619.05㎡
構造種別	木造（軸組・湿式工法）
設計	株式会社風・ジョインウッド
施工	株式会社風
工事工期	2014年10月～2015年7月

## 木造施設としての工夫

### 1. 吹き抜けの小屋組み



リビングから小屋組みを見る

施設は、木造軸組土壁湿式工法平屋建ての建物である。リビングから視線を上に向けて、屋根裏のダイナミックな小屋組みを見ることが出来る。

土、木材の調達、着工の約10ヶ月前から準備をして、国産のヒノキ、スギ、マツを500本以上使用している。

### 2. 指針に基づく設備の設置



廊下から小屋組みを見る

スプリンクラー設備、火災報知器、案内板などを設置することにより「その他の建築物」としている（有料老人ホーム設置運営標準指導指針6（2））。高い天井に消火設備を設置するため、消防との調整も行われている。

### 3. 土壁湿式工法による快適な暮らし



下地となる竹木舞と荒壁

荒壁は、芯には竹と藁縄で組んだ下地を使用している。さらに、中塗り、上塗りをかけ、着工から1年間程度で概ね完成した。

小屋裏の吹き抜け部分まで土壁とすることにより、表面の珪藻土とともに室内の温度調節、空気浄化をし、快適な環境をつくっている。また、上から空気が抜ける構造、左右に設けられた窓によって風が抜けて、夏季も快適に過ごすことが出来る。



デイサービスリビング

## 施設概要

お年寄りが元気に過ごせるよう、化学的なものを使わず、国産無垢材、土壁、いぶし瓦、柿渋塗料といった自然素材にこだわって建てられた有料老人ホームである。

木造・木質化の特徴

床



床一面に超仕上げをかけたヒノキ無垢材18mmを張っている。水廻りは、一部上から透明なシートを貼るなど工夫して利用している。ヒノキの水はけの良さなど木の特性を、設計者と運営者が頻繁に情報共有することで、トイレも意識的に水拭き掃除のみとしている。

手洗いスペース



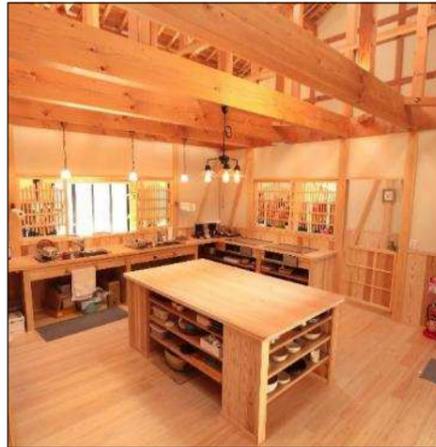
廊下の脇にある、仕切りのない手洗いスペースは、床や壁も廊下と同じように木質化されている。

居室



表面にあらわされた構造体に加えて、床、腰壁、建具を木質化し、木に囲まれた居室空間となっている。

キッチン



老人ホームの中央に位置するキッチンは、木格子によって、仕切りつつ、スタッフが入居者を見守りやすい環境をつくる。

浴室



壁の上層部、浴槽、桶など、浴室空間においても積極的に木質化している。

木造化によるメリット

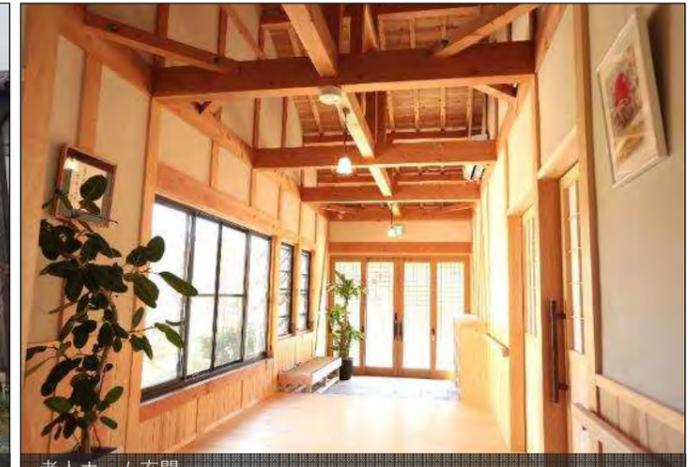
年月を追うごとに、劣化ではなく、色合いなど味の出るところが自然素材の特徴であり、魅力である。そういった木造の特性を活かすため、設計者と運営者が時間をかけてコミュニケーションを取り、掃除方法といった情報共有をすることにより、施設を綺麗に保っている。

施設という先入観を持たずに、基本は住宅と同じ視点で考えられており、家のような温かみのある空間は、利用者だけでなく、見学者からも評判が良い。スタッフ募集時には、施設の写真を見て、働きたいと来てくれる方も多い。

施設写真・図面集



中庭



老人ホーム玄関



トイレの戸は、障子を貼った木製折れ戸



リビングからキッチンを見る



# よりあいの森 ~避難安全検証法による内装制限回避~

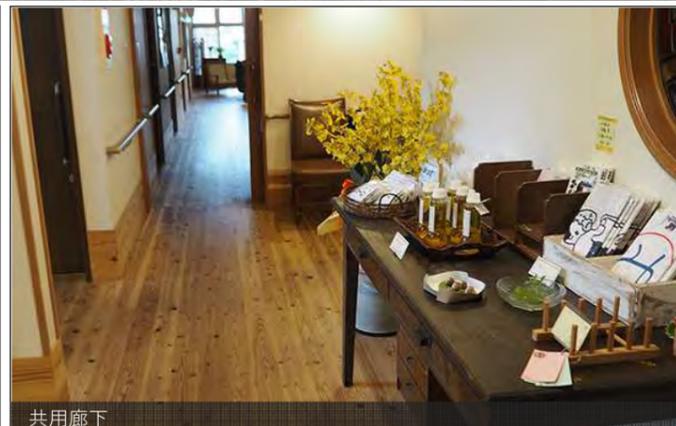
法人名：社会福祉法人福岡ひかり福祉会 所在地：福岡県福岡市 開設年月：2015年3月



入口から施設全体を見る



玄関



共用廊下

## 事業概要

- 地域密着型特別養護老人ホーム：26人
- ショートステイ（短期入所生活介護）：2人
- 古民家カフェ

## 建築概要

階数	地上2階建て
地域制限	その他の地域
建築物の防・耐火上の要件	準耐火建築物
敷地面積	1,221㎡
建築面積	551㎡
延床面積	910㎡
構造種別	木造（軸組工法）
設計	株式会社風土計画
施工	山口工務店
工事工期	2014年8月～2015年3月

## 木造施設としての工夫

### 1. 被覆型の準耐火建築物



共同生活室

主要構造部を準耐火構造とすることにより、2階建て準耐火建築物を実現している。

室内に現れる柱は、木材の外側をせっこうボードで被覆し、仕上げに木のボードを貼っている。建物外周の柱も防火被覆して、壁体内に納めている。

### 3. 敷地形状に合わせた施工計画



敷地全体

敷地が狭く、さらに敷地入口部分にある既存建築物を残す計画であるため、大型の重機を用いることが難しい。木造は大型の重機を必要としないため、施工面からも有意となっている。

## 施設概要

社会福祉法人福岡ひかり福祉会は、利用者の重度化に伴い、住まいの整備が急務の課題となり、在宅での生活が困難となった人に対する住まいとして特別養護老人ホームの整備を行っている。

保健福祉局からの地域連携防災避難体制づくりの要望と、消防局からの防火性能と避難安全検証法による検証の2つの要求をクリアし、福岡市内で第一号となる二階建て木造準耐火建築物の特養となっている。

### 2. 避難安全検証法による内装制限回避と近隣連携体制



近隣軒編についてのワークショップ風景

内装制限の適用を除外するため、第129条「避難安全検証法」に基づく避難シミュレーションを行っている。避難時における避難体制（職員の確保）を整備した上で、近隣住民に協力を要請している。近隣住民宅に火災時の緊急通報装置の設置により非常時における近隣住民との連携体制を構築した。

### 4. 安心をもたらす床構造



廊下の先に広がる共同生活室

上階の音は下階に伝わりやすいため、お年寄りが転倒する音が聞こえ、夜間などは下の階の職員が迅速に駆け付けることが出来る。また、夜勤時は上下の階に1人しか職員がいないため、孤独を感じやすいが、音が伝わることで「一人ではない」という安心感にも繋がっている。

## 木造・木質化の特徴

### 景観の調和



既存の敷地の中に溶け込むように、既存建築物に高さを合わせて設計している。

### 既存木造建築物の活用



敷地全体に広がっていた木造民家の一部を残し、カフェとして活用している。

### 柱による空間の分節



軸組工法による柱が、空間をゆるやかに分節している。ひとつの部屋で複数の活動を行うことができる。

### 空調機が目隠し



床下に設置された空調機は、壁掛けエアコンを床下に噴き出して空気床下冷暖房としており、効果を実感する声が聞かれる。

### 畳の床に座る



床座により体勢を横にするといった豊かな姿勢をとること、車いすに乗ることが出来ない人も這って移動することが出来る。

### 杉材のフローリング



床のメンテナンスは植物系塗料の塗布のみとしている。傷や素足で使う事による汚れも「味」と考えている。

## 木造化によるメリット

特殊な敷地形状を踏まえた施工の容易さや、建設費の面からも木造を採用している。既存木造建築物の一部を残して古民家カフェとして活用するなど、新旧の木造建築物が敷地の中でうまく溶け込んでいる。

認知症の利用者も落ち着いた生活をしており、木を使った環境がケアの軽減化にもつながっている。

## 施設写真・図面集



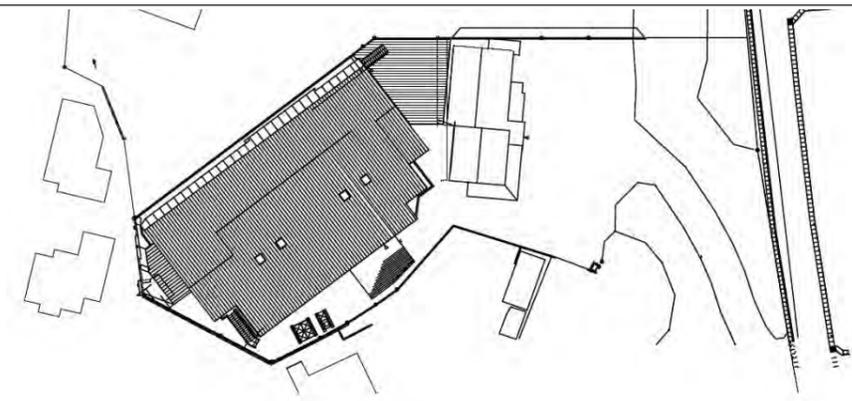
よりあいの森 (左) と既存木造建築物 (右)



ウッドデッキ空間は催しの場としても活用されている



よりあいの森のウッドデッキは、古民家カフェと連続した設計となっている



特養・カフェ配置図



特養 1階平面図

# なごみの里ななせ ~分棟化による耐火性能の確保~

法人名：社会福祉法人山陽福祉会 所在地：山口県山陽小野田市 開設年月：2018年3月



施設全体を見る



通所棟から渡り廊下を見る



入居棟から渡り廊下を見る

## 事業概要

- 地域密着型特別養護老人ホーム：29床【A】
- ショートステイ(短期入所生活介護)：10床【A】
- 児童発達支援：10人【B】
- 放課後等デイサービス：10人【B】
- 多目的ホール【B】

## 建築概要

階数	【A】地上2階建て【B】平屋
地域制限	その他の地域
建築物の防・耐火上の要件	【A】耐火建築物【B】準耐火建築物
敷地面積	5,441.01㎡
建築面積	1,911.11㎡
延床面積	【A】1,643.4㎡【B】272.21㎡
	計 1,915.61㎡
構造種別	木造(軸組工法)
設計	大久手計画工房
施工	シマダ株式会社
工事工期	2017年6月~2018年2月

## 木造施設としての工夫

### 1. 分棟化により構造種別を分ける



入居棟2階から通所棟を見る

特養、ショートからなる入居棟と、児童発達支援、放課後等デイサービス、多目的ホールからなる通所棟に建物を分けている。分棟化することにより、入居棟は耐火建築物、通所棟は準耐火建築物と構造を分けることが可能となっている。

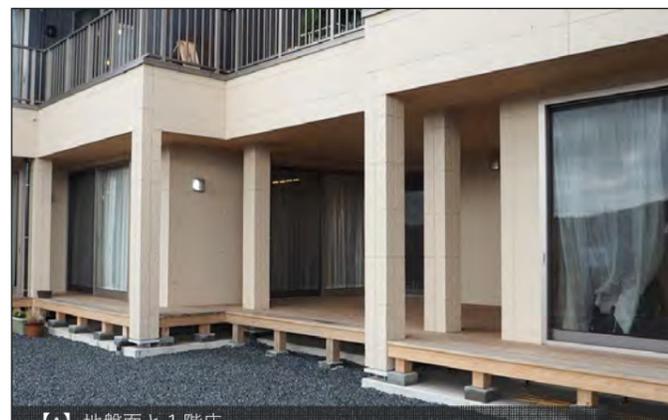
### 2. 施工の短縮



【A】特別養護老人ホームを見る

入居棟(耐火建築物)は、工期が短縮され、補助金の申請にも対応しやすい木造を選択している。建物を耐火建築物と準耐火建築物に分けることにより、竣工日時が決まっている入居棟を先行的に工事する事が可能となっている。

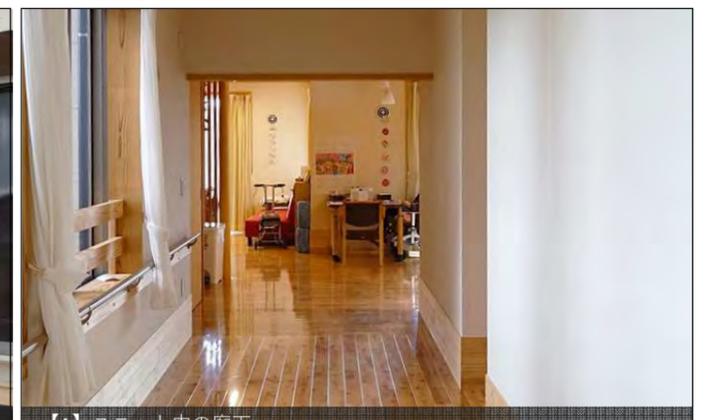
### 3. 地盤面と1階床高さ



【A】地盤面と1階床

建築基準法施行令第22条より、最下階の床の高さ及び防湿方法は原則として第22条一号、第22条二号に定めるところとなるが、ここでは床下をコンクリートたたき仕様とし、建物周辺部を透過性のある素材とすることで通気を十分に取っている。

### 4. 二重床によるメリット



【A】ユニット内の廊下

二重床とすることにより、転倒時のリスクの軽減を図っている。2階の音が1階まで伝わることもあるが生活上の問題とはなっていない。

その一方で、2階部分の床にコンクリートのスラブが敷かれていないため、2階で水漏れを起こすと1階まで影響を及ぼすこともあった。

## 施設概要

山陽新幹線の厚狭駅から徒歩10分の場所にある地域密着型特別養護老人ホームである。同一市内に定員80人の既存の特別養護老人ホームを運営している社会福祉法人が母体となっている。

施設は、特別養護老人ホーム、ショートステイのある2階建ての入居棟と、児童発達支援、放課後等デイサービス、多目的ホールのある平屋建ての通所棟に分かれており、2棟は渡り廊下と中庭でつながっている。

## 木造・木質化の特徴

### 屋外渡り廊下



緩やかな曲線を描く渡り廊下。天井には、杉板を貼っている。

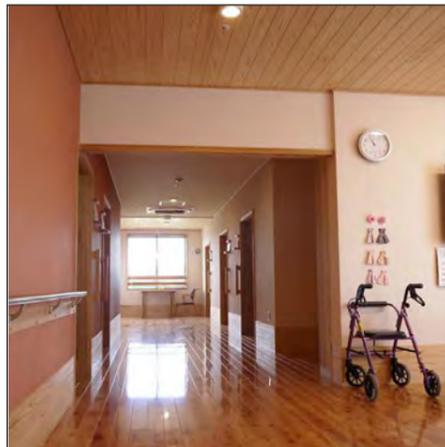
### 【A】天井



入居棟の天井は、共用部分は木材、廊下はクロスと仕様を使い分けることによって、空間にメリハリを持たせている。スプリンクラーの設備と排煙設備の設置により、内装制限を回避でき、クロスだけでなく木材を使用可能としている。



### 【A】床



床面のワックス掛けは6か月に1回（年2回）実施している。新建材を利用している既存施設と同じ頻度である。

### 【B】個室



心を落ち着けるよう、木で囲まれた小さな空間を設けている。天井を準不燃材料とすることで、壁一面を板張りとしている。

### 【B】和室



通所棟は、天井を設けず、建物を支える天然木が見える設計としている。

## 木造化によるメリット

分棟化により、入居棟は耐火建築物、通所棟は準耐火建築物としている。

通所棟は、雄大な梁を見せる意匠となっている。入居棟は、2ユニット×2階建てとし、職員室をはさんで2つのユニットが連結している。各ユニットには、リビングダイニングの他に小さな共用部分があり、内装材の仕様に変化を加える事によって、空間の領域分けを行っている。また、外装材、内装材、設備機器等はできるだけ住宅レベルの物品を用いることによりコストダウンを図っている。

木造を選択するにあたり、税金や減価償却期間を考慮した際の優位性も決めての1つとなった。

## 施設写真・図面集



【A】 壁紙やタイルを用いることで清潔感がある



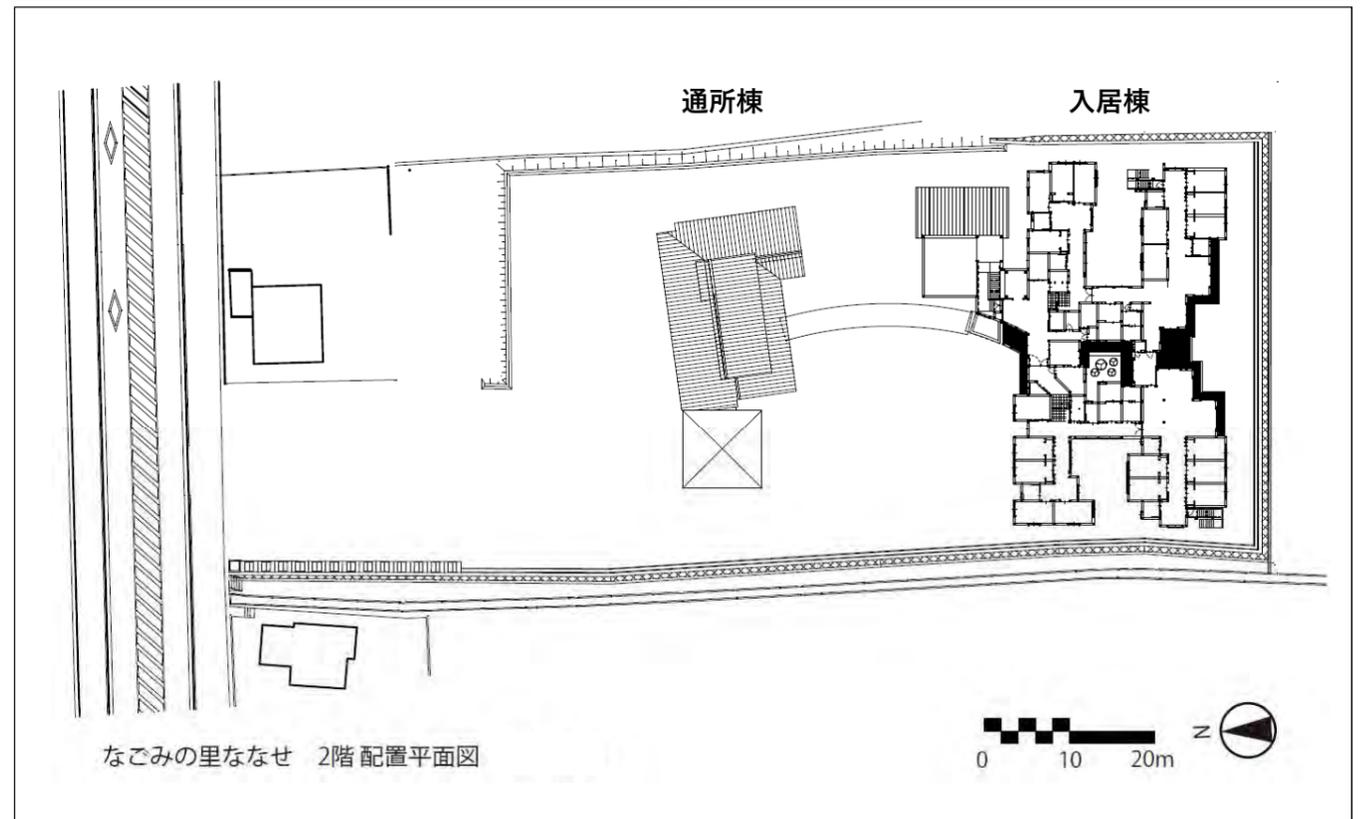
入居棟入口



【A】 カウンターの壁を蹴っても、板張によって保護される



【B】 多目的ホール天井



# 幸の郷 ～分棟による木造木質空間の実現～

法人名：社会福祉法人元気寿会 所在地：愛知県小牧市 開設年月：2016年6月



西側から西棟、北棟を見る



【A】食事スペース



【A】ユニット中庭



玄関のピロティ



訪れやすい別棟の工房



杉板を採用した階段や手摺

## 事業概要

- 特別養護老人ホーム：100人【A】
- ショートステイ（短期入所生活介護）【A】：18人
- デイサービスセンター：30人【B】
- コミュニティサロン
- コミュニティカフェ
- 工房
- レンタル会議室

## 建築概要

階数	地上2階建て
地域制限	法22条区域
建築物の防火上の要件	【A】耐火建築物 【B】準耐火建築物（一部燃え代）
敷地面積	8,874㎡
建築面積	3,240㎡
延床面積	【A】4,292㎡【B】934㎡ 計5,226㎡
構造種別	木造（軸組工法）
設計	大久手計画工房、樽建築設計室
施工	山旺建設株式会社
工事工期	2015年7月～2016年6月

## 木造施設としての工夫

### 1. 【A】棟ごとに生活を独立させる



【A】駐車場から北棟を見る

延床面積3,000㎡を超える特別養護老人ホームであり、3つに分棟化することで建設を可能となっている。分棟により施設が住宅サイズに近づき、各棟に玄関を設けるなど各棟で生活が完結している。エレベーターは3基必要となるが、面積を抑えることにより、家族や地域の方も訪れやすい。

### 2. 【A】内装制限を受けずに木を多用する



【A】ユニット共用スペース

建物は耐火建築物とし、防火区画を500㎡以下とすることにより、内装制限を受けない建物となっている。天井・壁の仕上げには木を多用しており、暖かみのある空間となっている。

### 3. 一般住宅と同じ軸組工法を用いてコストダウン



構造建て方

耐火建築物であっても、構法の技術面においては一般の2階建て住宅とほとんど変わらない。家をつくる大工が建てられる構法は、地元の業者が参加しやすい工事であり、また価格競争、コストダウンにつながっている。

### 4. 【B】燃えしろ工法により無垢の柱をみせる



【B】デイサービス廊下

デイサービスセンターは準耐火建築となっている。燃えしろ45mmをとることにより、無垢の檜の柱をそのまま化粧として見せている。また、2階を300㎡以下とすることにより、内装制限を受けない建物となり、内装に木材をふんだんに使っている。

## 施設概要

建物は、2階建て耐火建築3棟と、2階建て準耐火建築のデイサービス棟の計4棟で構成されている。延床面積4,300㎡に及ぶ大規模特別養護老人ホームは、10人単位のユニット×10ユニットを3つの棟に分棟して配置している。各棟にはそれぞれの独立した玄関があり、直接出入が可能となっている。各棟で食事から入浴ケアに至るまで、すべてを完結できるようになっている。

## 木造・木質化の特徴

### 木の建具



無垢の杉材で造られたユニット玄関の框戸は、どれも違うデザインで、木目の表情が柔らかな印象を与えている。

### 畳の廊下



スリッパを履かなくとも歩ける畳の廊下。スリッパによるつまづきが無くなり、転倒時の安全性も確保できる。

### 紙障子



共有スペースに面した居室には前室をつくり、障子を設けている。ゆるやかに外部とつながる。

### ピロティ



ピロティにより、立ち寄りやすい空間がつけられている。雨に濡れない広さがあり、地域の協力でマルシェが毎月開かれる。

### 外装への木材使用



木材を使用している外装部分は、変色が起こりやすく、定期的な研磨、ワックス掛けの費用や手間がかかる。

### 床材のメンテナンス



メンテナンスに慣れるため、職員の手で床材のオイル塗りを行い、綺麗な施設が維持されている。

## 木造化によるメリット

木造化を選択した理由の一つは、建築コストの削減である。建設費用がかかりすぎてしまうと、その後の運営にも大きな影響を及ぼす。コストは景気にも左右されやすいが、基礎工事のコンクリートや杭工事が安くなる木造は、ほかの構造よりもコストが下がりやすい。

もうひとつの理由は、増改築の容易さである。たとえば、老人ホームが子供の施設に変わる場合にも、適宜構造計算などを行うことにより、ほかの構造より比較的簡単に増改築をすることが可能となるため、建物を長く利用することができる。

## 施設写真・図面集



【A】寝浴対応の高野檜風呂



イベントや防災に備える外の水廻り



# あくらすJ ~地場産業への貢献を図る木造建築物~

法人名：株式会社誠心 所在地：福岡県太宰府市 開設年月：2018年8月



道路から施設全体を見る



デイサービス洗面



有料老人ホーム 食堂



中2階にある共用空間

## 事業概要

- 住宅型有料老人ホーム：28人
- デイサービス（通所介護）：30人
- 地域交流スペース
- レストラン

## 建築概要

階数	地上3階建て
地域制限	その他の地域
建築物の防・耐火上の要件	耐火建築物
敷地面積	797.79㎡
建築面積	456.74㎡
延床面積	1,219.67㎡
構造種別	木造（軸組工法）
設計	大久手計画工房
施工	株式会社黒木建設
工事工期	2017年12月～2018年8月

## 木造施設としての工夫

### 1. 耐火建築物



公園から見る

3階建ての有料老人ホームを建てるには、耐火建築物とすることを要求される。木材をせっこうボードによって被覆する「メンブレン型耐火構造」を採用している。

### 2. 軸組工法の採用



道路から玄関を見る

施工会社が手慣れている軸組工法を採用している。施工経験の豊富な軸組工法を採用することで、工期の短縮にもつながっている。

### 3. 住宅スケールの空間分割



1階レストラン兼地域交流スペース

軸組工法の柱スパンは住宅スケールとし、空間分割を住宅規模としている。入居者に対して、施設ではなく、家だと思って生活してもらえるようなデザインになっている。

### 4. 職人・地場産業への貢献



有料老人ホーム居室玄関

住宅などを手掛ける地域の工務店に施工を依頼している。数少ない大規模木造のノウハウを若い職人に伝える良い機会となっている。建具などの内装材についても地元業者を活用することにより、地元の材木などを活用している。

## 施設概要

あくらすJは地区公園に隣接し、公園や2階建て低層住宅団地と調和した3階建ての建物である。1階はレストラン兼地域交流スペースとデイサービス、2階及び3階は住宅型有料老人ホームとなっている。1階のレストランはオープンキッチンとなっており、地域の人々も気軽に利用できる。有料老人ホームは、食堂に加えて、豊かな共用空間を設けることにより、入居者同士の交流の場を提供している。

## 木造・木質化の特徴

### 続き間・縦格子の引戸



続き間には引戸を用い、空間の柔軟な使い分けを可能としている。縦格子とすることで、スタッフの目が行き届きやすい。

### 天井



スプリンクラー設備と排煙設備を設けることにより、内装制限の適用除外とし、天井にも木材が使用可能となっている。

### 照明カバー



オリジナルの木製照明カバーを製作し、費用を抑えるとともに、空間に柔らかい雰囲気をもたらしている。

### 畳の廊下



有料老人ホームの廊下は、畳を採用している。落ち着きのある空間をつくるだけでなく、転倒時の衝撃に備えている。

### タイル張りの床



1階レストランの床は、土足で利用できるよう、木の内装と同系色のタイルを用いて、空間をまとめている。

### アンティーク家具



有料老人ホームの食堂は、アンティーク家具で統一することにより、空間に落ち着きをもたらしている。

## 木造化によるメリット

太宰府市では歴史的遺物が出土することもあるため、大規模な地盤工事が不要となる木造を採用している。さらに木造とすることにより工期や費用の削減にもつながっている。

施工会社の選定に際しては、木造の仮設住宅なども施工している施工会社に工事を依頼した。地元の工務店に依頼をしたこともあり、鉄筋コンクリート造と比べて費用の削減につながり、また、職人の確保も容易であった。

## 施設写真・図面集



公園から見る



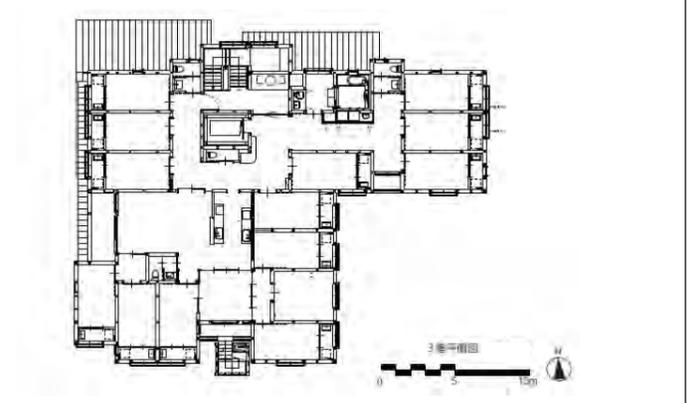
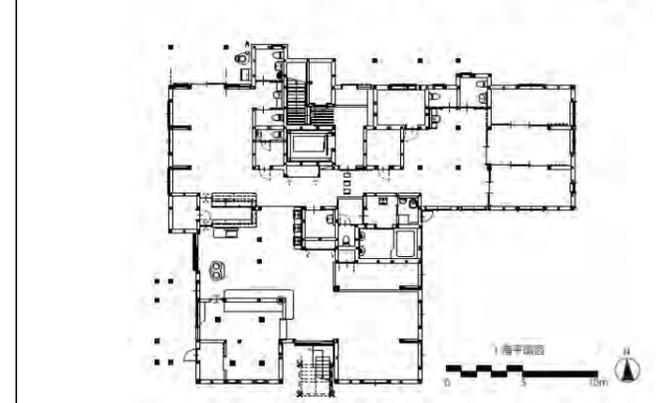
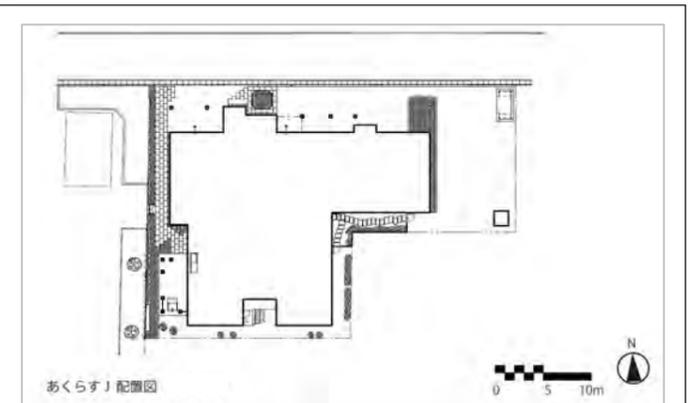
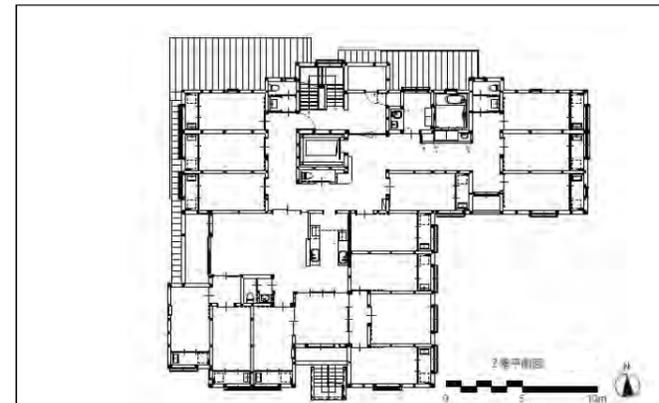
有料老人ホーム 食堂



1階デイサービス



有料老人ホーム 居室



# かざみ鳥 ~ 桝組壁工法耐火構造の湿式外壁 ~

法人名：社会福祉法人善心会 所在地：香川県仲多度郡 開設年月：2011年11月



施設全体



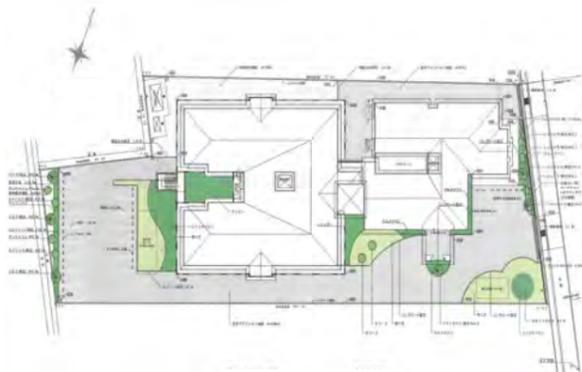
特別養護老人ホーム 居室



特別養護老人ホーム 中庭

## 事業概要

- 特別養護老人ホーム：60人  
(ショートステイ 10人含む)
- デイサービス (通所介護)：30人



## 建築概要

階数	地上3階建て、一部平屋
地域制限	その他の地域
建築物の防・耐火上の要件	耐火建築物
敷地面積	3,597.47㎡
建築面積	1,593.51㎡
延床面積	2,978.52㎡
構造種別	木造 (桝組壁工法)
設計	株式会社吉高総合設計 吉高 久人
施工	三井ホーム株式会社
工事工期	2010年12月~2011年9月

## 木造施設としての工夫

### 1. 屋根仕上げ材の軽量化



屋根 (デイサービスおよびエレベーターシャフト)

ガルバリウム鋼板の表面に天然石砂でコーティング塗装した屋根仕上げ材を採用している。和瓦と比べて単位重量が1/10程度と軽量であるため、桝組壁の構造材であるたて桝本数および耐力壁量の削減に寄与している。

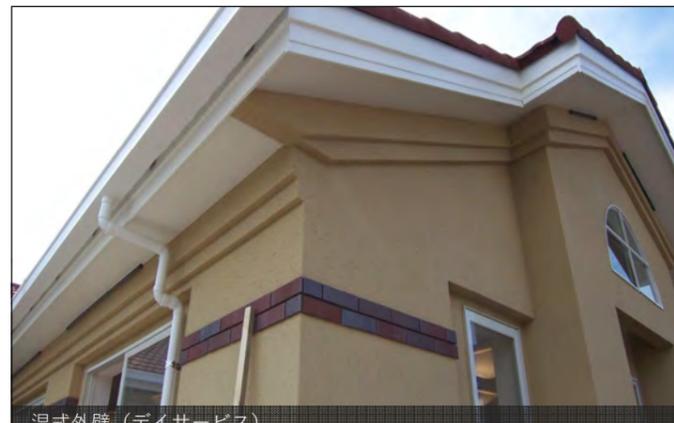
### 2. Iジョイストの床根太



Iジョイストの床根太 (下から見上げた施工状況)

2階と3階の床根太として、軽量で剛性の高いI形の木質複合軸材料 (Iジョイスト) を採用している。上下を石膏ボードで覆い、被覆型耐火構造の床板を構成している。

### 3. 耐火構造の湿式外壁



湿式外壁 (デイサービス)



計画当時は、香川県初の桝組壁工法による大規模耐火建築物であり、消防に計画内容を理解してもらうために何度も事前協議を実施し、告示による排煙免除適用における下地・仕上不燃の要求事項に関する木造耐火の考え方についての調整を行っている。外壁は、モルタル下地吹付仕上げによる耐火構造の湿式外壁を採用している。日本ツーバイフォー建築協会が取得した1時間耐火認定仕様以外に、メーカー個別の大臣認定を活用することで、要望を満たす外観デザインを実現している。設備配管等の貫通部材として中空壁用の耐火貫通部材の大臣認定をメーカーと共同して取得している。

## 施設概要

木造 (桝組壁工法) による3階建て耐火建築物としては、建設当時において国内最大規模の施設である。回廊式のバルコニーが入居者に心地よい環境を提供している。また、ユニット内で働く介護職員が見渡ししやすいようなコンパクトなプランとしている。  
国土交通省の補助事業「木のまち整備促進事業」(平成22年度) に採択されている。

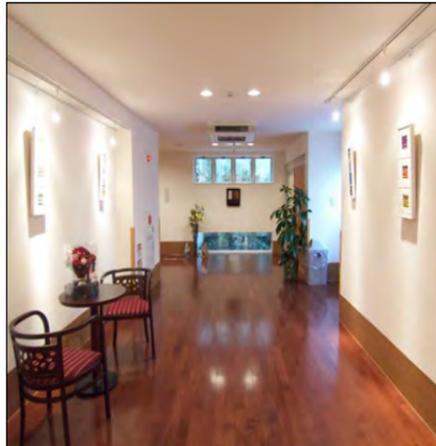
## 木造・木質化の特徴

### 渡り廊下による分棟化



平屋部分（管理・デイサービス）と3階建て部分（特養）を構造的に分棟化し、エキスパンションジョイントを設けている。

### 木質フローリング



各居室、共同生活室、共用廊下等の床は、テクスチャと色合いから桜材（複合フローリングの表層単板）を採用している。

### 桢組壁工法での国産材利用



輸入材に加えて、桢組壁工法への国産材活用のモデルとなることを期待し、四国・愛媛県産材を一部構造材に採用している。

### 建物総重量と地業補強



従前は水田であった敷地であるが、建物総重量が軽いため、地盤改良による地業補強のみで杭を必要としなかった。

### 耐火仕様と遮音性



桢組壁工法の一時間耐火仕様は石膏ボード15.5mmと21mmの二重張りとなり、特養の日常生活における遮音性を確保している。

### 居室とバルコニー間の段差解消



防水施工により段差のあるバルコニーにウッドデッキを敷いて居室との段差を無くすことで、利用者の利便性を高めている。

## 木造化によるメリット

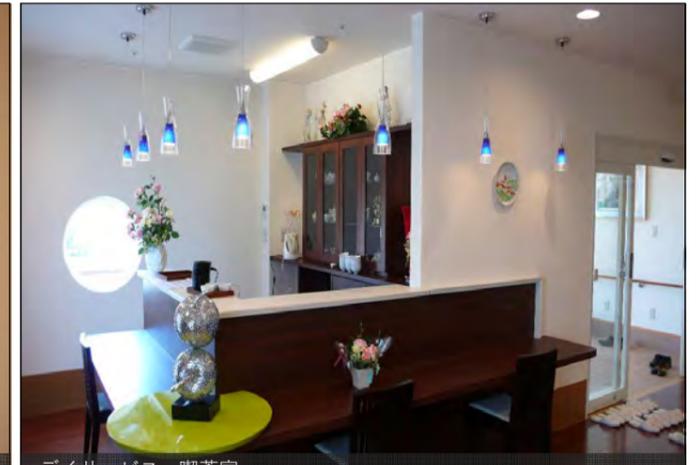
木材は、工場における加工やパネル化が容易である。さらにそれを用いることにより、構造躯体の建方工事のスピードアップに伴う建築工期の短縮を図ることが出来る。また、建物総重量が軽いため、布基礎を採用することが可能となり、全体の工期短縮とコストダウンにつながっている。

桢組壁工法はその特徴より、高い断熱・気密性が確保しやすく、冷暖房費の軽減を図ることができている。四季を通じて、快適な室内環境が保たれ、特に冬場は暖房を入れなくとも暖かい。また、木はコンクリートのような冷たさがなく、落ち着きと優しさがあるとのコメントを得ている。

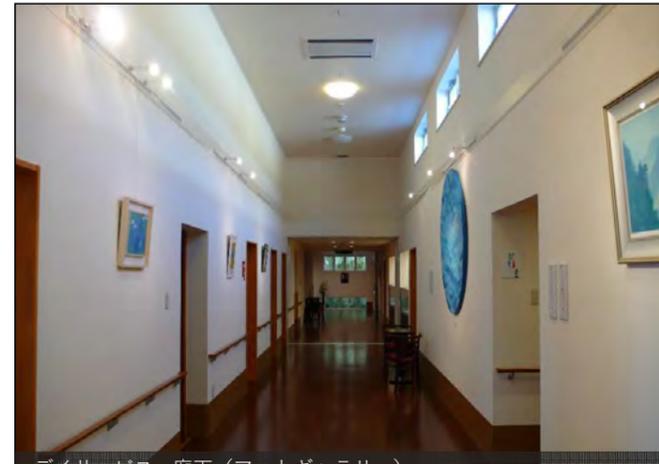
## 施設写真・図面集



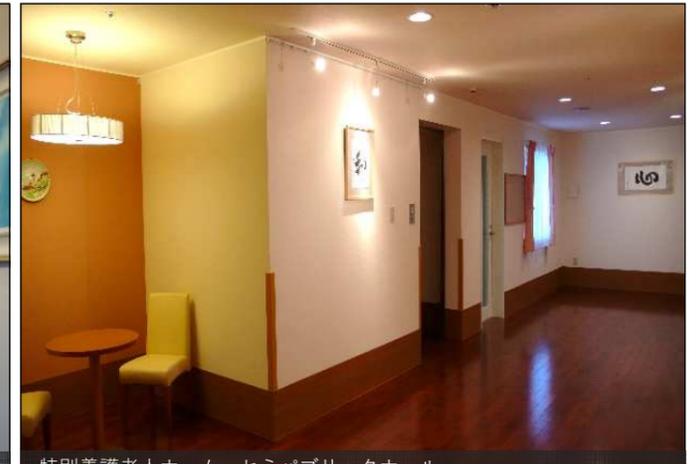
特別養護老人ホーム ユニット玄関



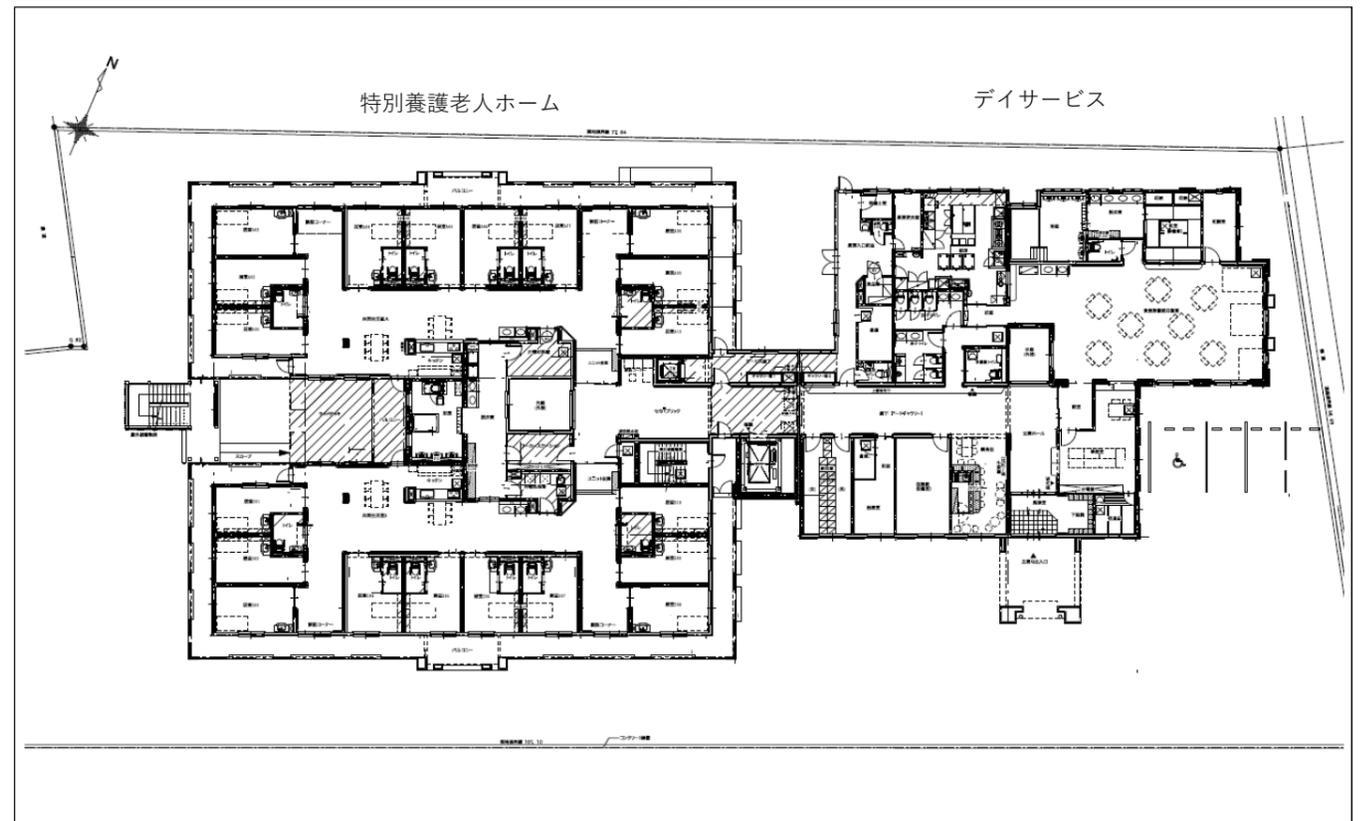
デイサービス 喫茶室



デイサービス 廊下（アートギャラリー）



特別養護老人ホーム セミパブリックホール

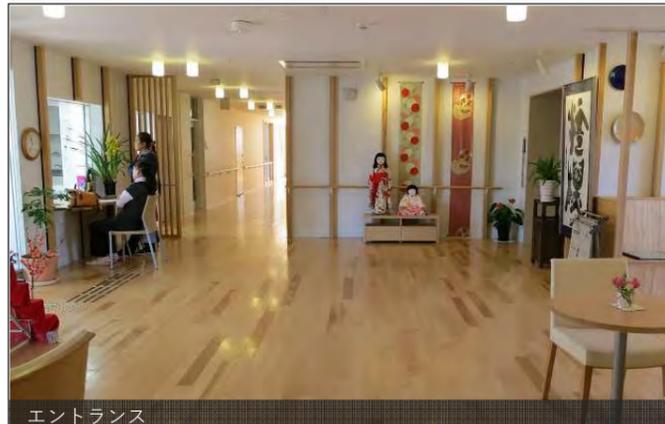


# ハートホーム宮野 ～外装に木を使った耐火建築物～

法人名：社会福祉法人青藍会 所在地：山口県山口市 利用開始年月：2012年6月



東側から施設全体を見る



エントランス



雁行型配置を活かした植栽スペース

## 事業概要

- 地域密着型特別養護老人ホーム：29人
- ショートステイ（短期入所生活介護）：29人
- 住宅型有料老人ホーム：39人

### 既存の併設施設

- デイサービス（通所介護）：35人（RC造）
- デイサービスセンター（認知症対応型通所介護）：24名（RC造）
- グループホーム（認知症対応型共同生活介護）：9名（RC造）
- 共用型認知デイサービス（認知症対応型通所介護（共用型））：3名（RC造）

## 建築概要

階数	地上3階建て
地域制限	法22条区域
建築物の防・耐火上の要件	耐火建築物
敷地面積	2,976.3 ㎡
建築面積	1,375.9 ㎡
延床面積	3,875.55㎡
構造種別	木造（軸組工法）
設計	大野秀敏+吉田明弘/アプ ルザ インワークショップ
施工	株式会社 安藤建設（現 安藤・間）
工事工期	2011年8月～2012年6月

## 木造施設としての工夫

### 1. 軸組工法による大規模耐火建築物の実現



ショートステイユニット玄関

国内初の国産材による大規模軸組工法。3階建てとなり、となり1時間の耐火性能を要求されることから、軸組工法による被覆型の耐火建築物としている。

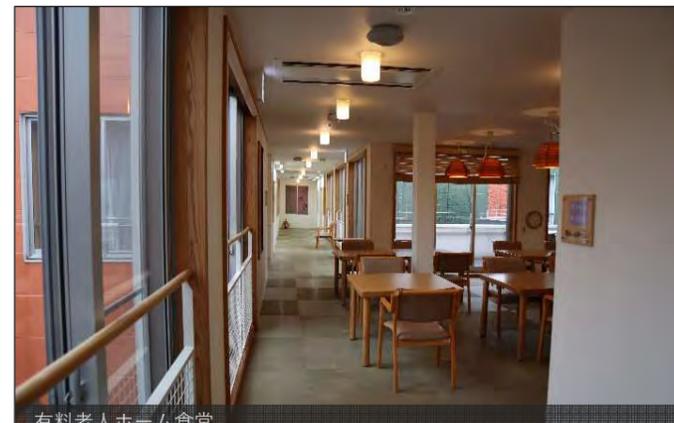
### 2. 地場産業への貢献



共用廊下

山口県はアカマツの銘木、「滑（なめら）松」の産地であることから、地元の植林伐採サイクルの再生に向けて地域産材を活用している。建物の規模が大きく山口県の地域産材だけでは木材が確保できなかったため、隣接する広島県、岡山県の木材も一部使用している。

### 3. 軸組工法の採用



有料老人ホーム食堂

柱梁で建物を支える軸組工法を活かして、窓の多い、明るい施設を計画している。

建物を斜めにずらした雁行型の配置及び複数の中庭により、複雑な形状となっている。軸組工法とすることで構造計算（許容応力度計算）が容易となっている。

### 4. 耐火建築物における木の表現



木のルーバーを外装として使用

一般的に被覆型を採用する場合、躯体が覆われて、木が見えなくなってしまう。その欠点を補うため、特定行政庁と協議し、難燃塗料の塗布、外壁から離すことを条件に木のルーバーを用いている。経年変化で茶色から灰色へ変化することで、美しさを増していくように計画されている。

## 施設概要

ハートホーム宮野は、山口市の北部地域にあり、山間部の高齢者も含めた介護ニーズに対応している。1階は定員29人の地域密着型特別養護老人ホーム、2階は定員29人のショートステイ、3階は定員39人の住宅型有料老人ホームとなっている。建物の配置を工夫することにより、大規模な施設でありながらも、建物内でも自然を多く感じられる設計となっている。

## 木造・木質化の特徴

### 軸組工法の大きな開口



軸組工法とすることで、開口面積を広くとることができる。複数の中庭が設けられており、採光と通風が確保されている。

### 木製の太い窓枠



窓枠の見附は通常より太く、45mmとしている。木が強調され、畳とともに暖かい印象をもたらしている。

### 屋外空間の緑化



建物の外周や中庭に植栽を施している。木製家具と連続して自然豊かな空間をつくりだしている。

### 障子と格子による仕切り



部分的に格子と障子を組み合わせさせた仕切りを設けている。障子は太鼓張りとし、両面からの意匠に配慮している。

### 畳の床



ユニット内の床材には畳を使用している。クッション性があり、足腰の負担が軽減するよう工夫されている。

### 木板を張った浴室



浴室の壁面は板張りとすることにより、安らぎをもたらす空間となっている。

## 木造化によるメリット

地元の方々に利用される施設であるだけでなく、地域産材を使用することにより、林業や建設業といった地場産業の貢献にも繋げている。

被覆型の耐火建築物でありながら、内外装を工夫することにより、木のぬくもり溢れる空間となっている。併せて、畳、障子などを用いることで、施設でありながら、慣れ親しんだ家のような住み心地の良さをもたらしている。

## 施設写真・図面集



居室



1階ホールから玄関を見る

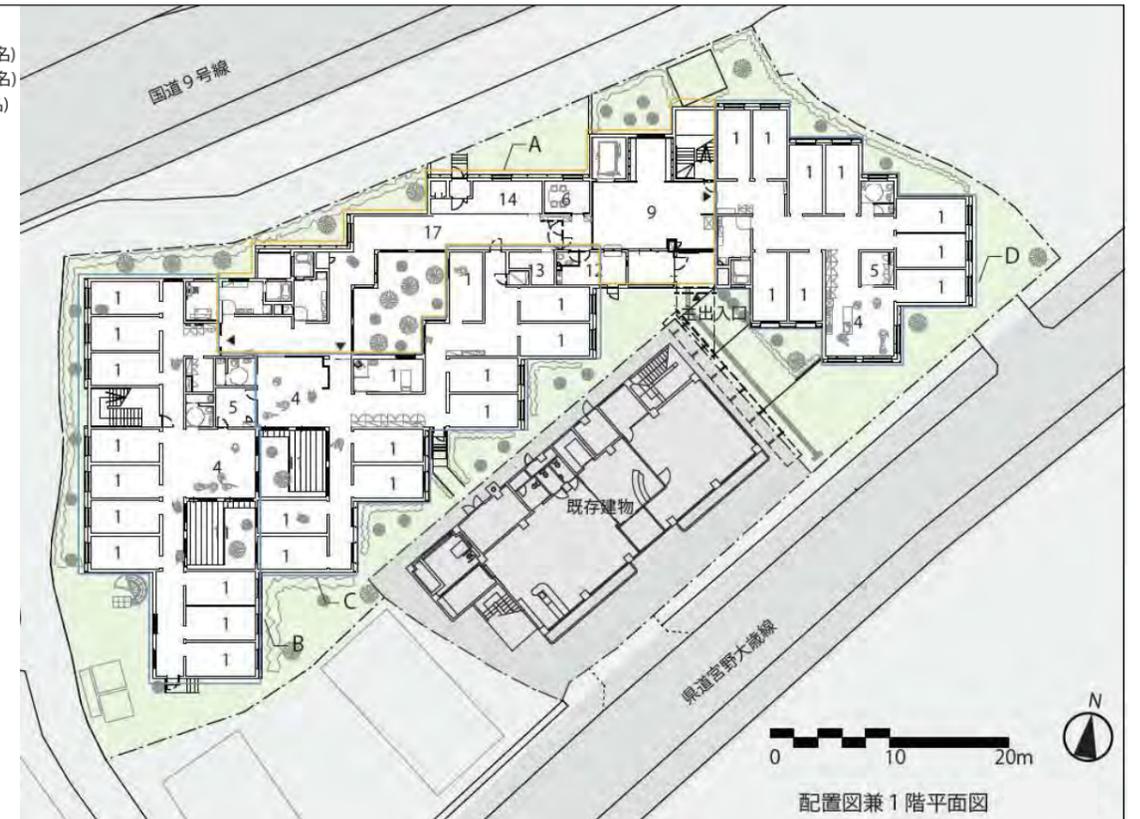


談話コーナー（特別養護老人ホーム）



共用部のテラス

- A: 共有スペース
- B: 特養ユニット1 (定員10名)
- C: 特養ユニット2 (定員10名)
- D: 特養ユニット3 (定員9名)



- 1. 特養居室
- 4. 共同生活室
- 5. 介護職員室
- 9. ホール
- 12. 事務室・宿直室
- 13. 医務室
- 14. パントリー
- 17. 共用廊下

配置図兼1階平面図

# 花畑あすか苑 ～桝組壁工法による耐火5階建て～

法人名：社会福祉法人聖風会 所在地：東京都足立区 開設年月：2016年7月



施設全体



地域交流スペース（あすカフェ）



エレベーターホール



南側正面から見る（夕景）



エントランスホール



足湯

## 事業概要

- 特別養護老人ホーム：160人（ショート含む）  
延床面積：9,773.24㎡
- 認知症デイサービス（認知症対応型通所介護）
- 居宅介護事業所
- 地域交流拠点スペース（防災拠点型）

## 建築概要

階数	地上5階建て
地域制限	防火地域
建築物の防・耐火上の要件	耐火建築物
敷地面積	4,551.39㎡
建築面積	2,495.83㎡
延床面積	9,773.24㎡
構造種別	木造（桝組壁工法）、鉄筋コンクリート造
設計	株式会社メドックス
施工	三井ホーム株式会社
工事工期	2015年3月～2016年5月

## 木造施設としての工夫

### 1. RC造と木造桝組壁工法の特徴を生かす



南側正面から見る

1階を鉄筋コンクリート造とすることで、大空間の必要な共用諸室を確保している。生活空間は、小空間に区切ることが可能な2階～5階としている。また、上から4層を木造とすることで、木造部に必要な耐火仕様を1時間耐火としている。

### 2. 大規模化に対応する高耐力壁



構造建て方

高層化された木造では、構造的に一般建物より高い体力を持つ耐力壁が必要になる。本建物では、一般的な桝組壁工法材料で組み立てられるミッドプライウォールを使用し、なるべく工場生産を増やし、現場での建て方作業の負担を減らしている。

### 3. 構造壁とプライバシー



従来型多床室

特別養護老人ホームの従来型多床室についても、構造上必要な壁を隔壁として設けることで、桝組壁工法の構造とプライバシーを活かしたプランニングを行っている。

### 4. ウッドデッキのバルコニー



バルコニー

中高層木造施設でも避難を簡易にできるように全周バルコニーを設けている。バルコニーも居室との段差が無いようにウッドデッキを設け、各部屋ごとの空調を設置し、メンテナンスしやすいようになっている。

## 施設概要

花畑あすか苑は、160名入所の特別養護老人ホームである。1階が鉄筋コンクリート造、2階から5階までが耐火木造（桝組壁工法）の立面混構造となっており、日本初の5階建て木造耐火建築物の特別養護老人ホームである。延床面積は10,000㎡弱となっており、木造桝組壁工法の建築物としても日本最大級となっている。

## 木造・木質化の特徴

### エントランス



エントランスには不燃処理された国産板材を使用することで木質感を演出している。

### ユニット玄関



ユニット玄関には木格子を設けて、利用者の目印となるような意匠を施している。

### 共用廊下



木質感のある床仕上げを使用し、天井格子等落ち着いたデザインとしている。

### 食堂・共同生活室



一番滞在時間の長い食堂・共同生活室は、耐久力のあるフローリングを使用し、木のぬくもりが感じられる。

### ホール



人が通るホールについては、木質感のある素材を使用している。天井格子等を設けて和風のデザインとしている。

### サイン



施設らしくならないように、積み木を組み合わせた木製のサインを設けている。

## 木造化によるメリット

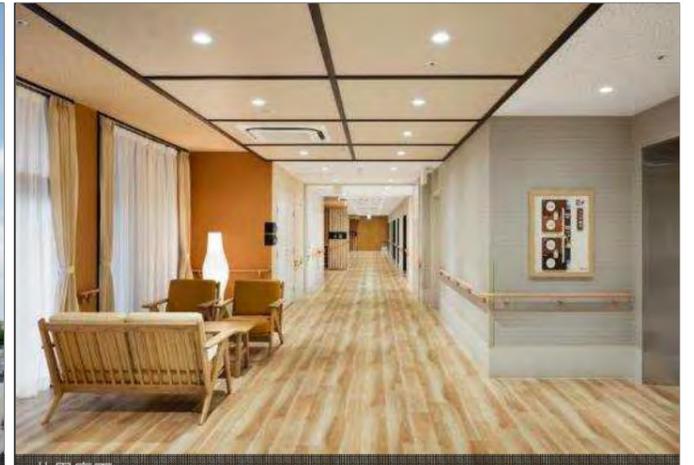
老人ホームは、高齢者施設であると共に、入居者にとっては第2の住まいでもある。木造の家になじみの深い入居者にとって、「木の持つ風合い」の安心感から2階から5階の住居階に木造を採用している。

木造の建物は他工法に比べて床のクッション性があり、入居者が転倒した際に怪我の低減を図ることを可能にすると共に、介護職員にとっても足腰の疲れが軽いといった身体的負担も少なく、労働環境の改善につながっている。

## 施設写真・図面集



南西側地上から見る



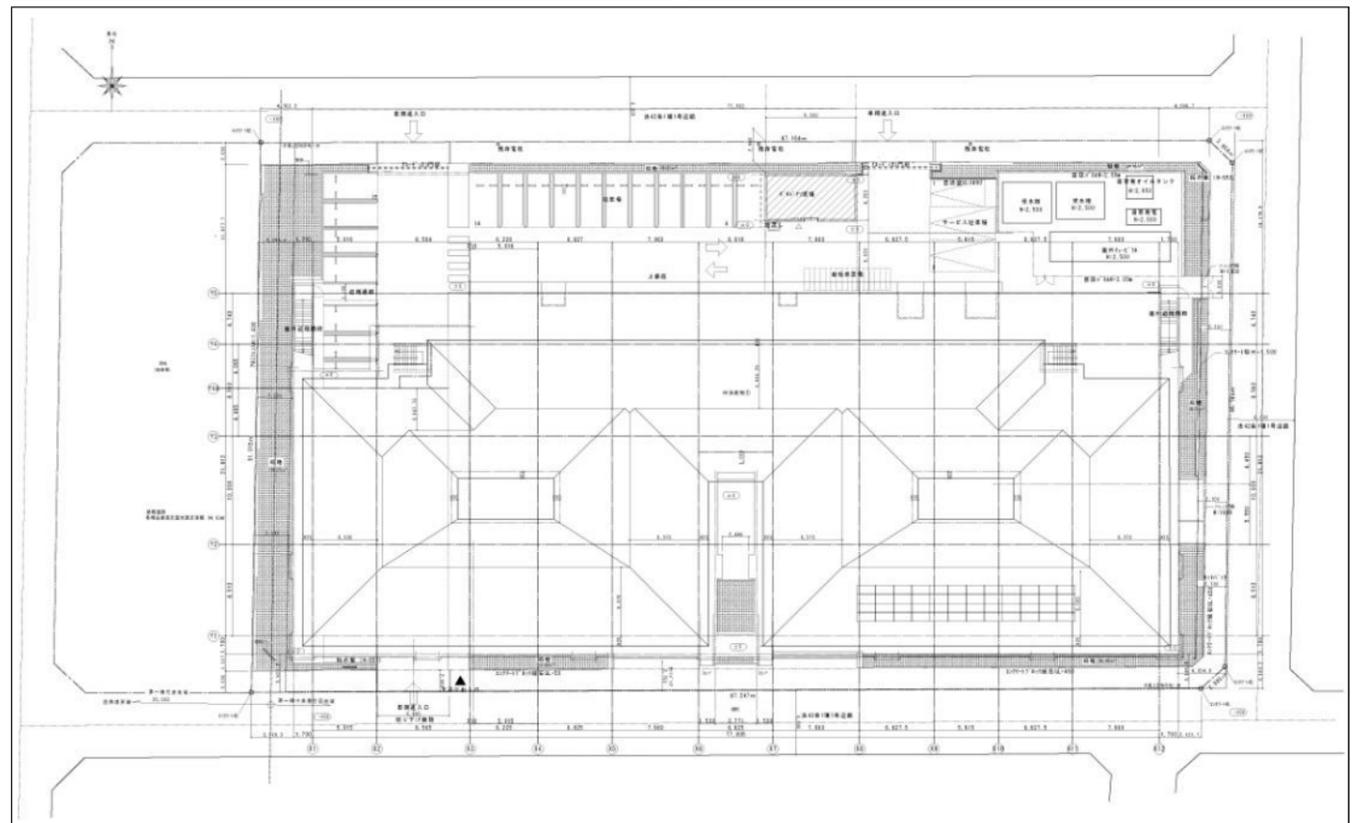
共用廊下



居室



東側隣地小学校との記念壁画



# お産の森 いのちのもり 産科婦人科 篠崎医院

## ～住宅スケールの空間による癒し効果のある医療施設～

建築主：篠崎 英雄 所在地：茨城県守谷市 開設年月：2010年3月



施設全景



中庭を介して親密感のある病棟部分（左及び奥）、ダイルーム（右）を見る



ダイルーム天井見上げ

### 事業概要

- 産科婦人科医院（診療所）
- 病棟：ベッド数9床

### 建築概要

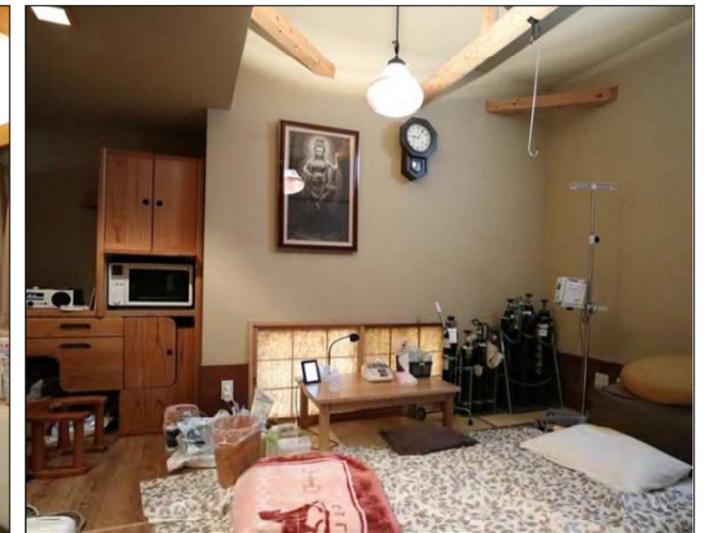
階数	地上2階建
地域制限	市街化調整区域（防火制限なし）
建築物の防・耐火上の要件	その他の建築物
敷地面積	2,538㎡（住宅含む）
延床面積	753.59㎡
構造種別	木造（軸組工法）
設計	藤木隆男建築研究所
施工	岡部工務店
工事工期	2009年8月～2010年3月

### 木造施設としての工夫

#### 1. 木造で馴染みやすいスケールにしつらえる



待合室【共用動線】



お産のへや（和室の分娩室）【病棟】

施設全体を住宅のような親しみやすいスケール感としている。待合室は、イッヅによる柱及び登梁、700mm角による床、木製建具及び家具でしつらえ、落ち着いた雰囲気形成している。分娩室は床は、縁甲板、木製建具及び家具でしつらえ、住宅の居室のようなスケール感と安心感を実現している。

#### 2. 内装制限を受けない部位を中心に木質化をはかる



廊下【共用動線】



入院室出入口建具【共用動線】



ダイルーム【病棟】

柱・梁は、杉、床は、700mm角、木製外部建具を用い、親しみやすい落ち着いた空間を形成。内装制限が適用される天井の一部には、準不燃化粧合板を用い木質感を高めている。

廊下に面した全ての入院室の建具は比較的開口幅の広い木製引戸とし、白い漆喰壁にあたたかみのあるアクセントとなっている。

柱・梁は、イッヅ集成材、床は、700mm角、木製の階段及び家具でしつらえ、住宅の居間のような落ち着いた空間を形成。内装制限が適用される天井には、準不燃化粧合板を用いている。

### 施設概要

本産科婦人科医院は、中庭を中心に診察室・事務室エリア、入院室エリア、お産・手術室エリア、ダイルームで構成されている。院長先生の小規模な地域医療の拠点は「もう一つのおうち」でなければならないという明確なビジョンのもと、木造住宅のような親しみやすく安心感のある施設を実現している。

木造・木質化の特徴

妊婦検診 診察室【診療】



床は珞フローリング（清掃性向上のためコーティング済）、建具及び家具にも木を用い、安心感のある空間を形成している。

スタッフ室【病棟】



床は珞フローリング、建具及び家具にも木を用い、入院者が安心して訪れやすい雰囲気を形成している。

ラウンジ【病棟】



柱は珞丸太、床は珞フローリングを用い、天井高さを抑えて落ち着きがあり人が憩いやすいコーナーとしている。

廊下【病棟】



柱及び登梁は珞、床は珞フローリング、天井（一部）及び建具にも木を用い、木に包まれた温かみのある空間を形成している。内装制限が適用される天井の一部には準不燃珞化粧合板が用いられている。

入院室【病棟】



梁は珞、床に珞フローリングを用いると共に、畳敷の小上りを設け、住宅のような空間を形成。

木造化によるメリット

妊婦さんが住宅に居るように安心してお産ができる施設を目指し、木造の平屋建て（一部2階建て）を選択したため、鉄筋コンクリート造で建てる選択肢はなかった。

緊張して来院する妊婦さんが普段自宅にいるのと同じように安心してリラックスされていることが多い。木の匂いによるアロマ効果で落ち着くという人もいます。鉄筋コンクリート造よりも時間がゆっくり流れている印象がある。

施設写真・図面集



風除室

外壁材にはベイツ、建具にも木を用いた寄り付き空間。



エントランス

化粧梁、建具、家具にも木を用いたエントランス。



受付

柱、床、カウンターや棚に木を用い、柔らかい光を発する照明器具を配した受付。



沐浴室/手術室前室

家具の一部や建具枠に木を用い、安心感を誘発する沐浴室。



入院室（和室）

梁は珞、床は畳、腰壁に珞板でしつらえた入院室（和室）。



ディールーム手洗いコーナー

水がかかりにくい部分に積極的に木を用いた手洗いコーナー。



配置図兼1階平面図

## <対策のポイント>

木材製品の国際競争力を強化するため、**非住宅分野等における木材製品の消費拡大等**を支援します。

## <政策目標>

国産材の供給・利用量の増加（30百万m<sup>3</sup> [平成29年] →40百万m<sup>3</sup> [平成37年]）

## <事業の内容>

### 1. JAS構造材実証支援事業

2,407,327千円

- ① 工務店等木材の実需者や発注者における、JAS構造材（無垢製材、CLT）を積極的に活用する気運を高めるため、「JAS構造材活用拡大宣言」運動を展開する普及活動を支援します。また、宣言を行った事業者を登録・公表し、成果の見える化を図ります。
- ② ①の登録事業者（建築業者）が、木造非住宅分野を中心にJAS構造材等を活用して、今後類似事例の拡大が期待できる建築を実証的に行う場合、JAS構造材等の調達費の一部を支援します。

### 2. CLT建築実証支援事業

612,564千円

- ① CLTを活用した実証的な建築物の建築に向けて、地域の関係者等が連携する協議会が策定する建築計画について公募・審査し、建築主体に他構造とのコスト比較を踏まえた設計から実証的建築にかかる費用等を支援します。
- ② 木質建築部材に関して、製造コストの縮減や、建築物の設計・建築に合理的に活用する技術の開発に向けた試験等を実施する民間団体等に対し、試験費用等を支援します。

### 3. 外構部の木質化対策支援事業

1,509,975千円

これまで木材が余り使われてこなかった非住宅及び住宅の外構部について、今後類似事例の拡大が期待できる木質化の取組を実証的に行う場合、木材の調達費等の一部を支援します。

## <事業イメージ>

### 木材製品の消費拡大対策



非住宅分野等の建築物へのJAS構造材等の活用



CLTを活用した設計・建築等の実証

木質建築部材の技術開発



木材の新たな需要先として見込まれる木製塀等の普及

## <事業の流れ>



【お問い合わせ先】 林野庁木材産業課 (03-6744-2294)  
木材利用課 (03-6744-2120)